

地域スポーツ人材の派遣

1 目的

体育・スポーツや運動遊びが本来もっている楽しさを体験し、スポーツに親しむきっかけとして、小・中・高等学校における体育的な活動場面において、地域のスポーツ指導者により、児童生徒に実技指導や運動遊び等の支援を行うことで、望ましい運動習慣の形成、体力向上及び教員の指導力の向上に資する。

2 全体構成

(1) 小学校への派遣

年間を前後期に区分し、前期は社会人のスポーツ人材を体育授業へ派遣している。学校としては、水泳の技能指導に対するニーズが高い。

後期では、主に県内の大学と連携し、将来教員をめざす教育学部を中心とした学生を体育授業へ派遣している。

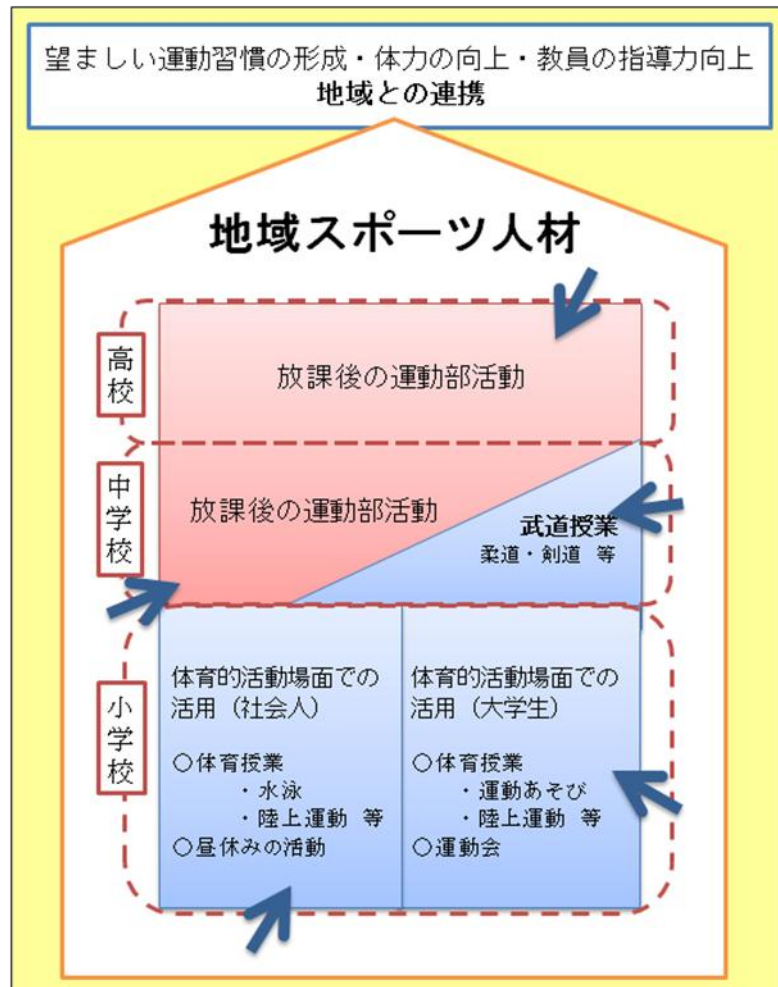
(2) 中学校への派遣

平成24年度からの中学校保健体育授業における武道の必修化を踏まえ、地域の武道各種目の有段者を授業に派遣することで、武道特有の技能のみならず、伝統的な行動様式や考え方の指導を受けることで、授業の充実を図ることをねらいとする。

また、運動部活動への派遣も行っている。

(3) 高校への派遣

競技力の向上や生徒の自主的な部活動運営を支える役目として放課後の運動部活動への派遣を行っている。



トップアスリート（きらら山口）による授業支援

3 これまでの実施状況

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
小学校	社会人	49校	47校	59校
	大学生	7校	15校	18校
中学校	武道授業	なし	2校	9校
	運動部活動	29部	35部	28部
高校	運動部活動	21部	58部	58部

4 23年度の実施状況

小・中・高校への派遣実績については、下表のとおりである。

<p>小学校体育授業(77校)</p> <p>○社会人</p> <table border="1"> <tr><td>派遣先学校数</td><td>59</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>25</td></tr> </table> <p>指導内容(校数)</p> <table border="1"> <tr><td>水 泳</td><td>20</td></tr> <tr><td>陸上運動</td><td>1</td></tr> <tr><td>器械運動</td><td>3</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </table> <p>○大学生</p> <table border="1"> <tr><td>派遣先学校数</td><td>18</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>22</td></tr> </table> <p>山口大学 東亜大学</p> <p>指導内容(校数)</p> <table border="1"> <tr><td>陸上運動</td><td>6</td></tr> <tr><td>器械運動</td><td>8</td></tr> <tr><td>体づくり運動</td><td>3</td></tr> <tr><td>球 技</td><td>1</td></tr> </table>	派遣先学校数	59	派遣人数	25	水 泳	20	陸上運動	1	器械運動	3	その他	1	派遣先学校数	18	派遣人数	22	陸上運動	6	器械運動	8	体づくり運動	3	球 技	1	<p>中学校(32校)</p> <p>○保健体育科武道</p> <table border="1"> <tr><td>派遣先学校数</td><td>9</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>11</td></tr> </table> <p>指導内容(校数)</p> <table border="1"> <tr><td>柔 道</td><td>4</td></tr> <tr><td>剣 道</td><td>3</td></tr> <tr><td>なぎなた</td><td>1</td></tr> <tr><td>杖 踊</td><td>1</td></tr> </table> <p>○運動部活動</p> <table border="1"> <tr><td>派遣先学校数</td><td>23</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>28</td></tr> <tr><td>指導種目数</td><td>11</td></tr> </table>	派遣先学校数	9	派遣人数	11	柔 道	4	剣 道	3	なぎなた	1	杖 踊	1	派遣先学校数	23	派遣人数	28	指導種目数	11	<p>高校(24校)</p> <p>○運動部活動</p> <table border="1"> <tr><td>派遣先学校数</td><td>24</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>58</td></tr> <tr><td>指導種目数</td><td>24</td></tr> </table>	派遣先学校数	24	派遣人数	58	指導種目数	24
派遣先学校数	59																																																	
派遣人数	25																																																	
水 泳	20																																																	
陸上運動	1																																																	
器械運動	3																																																	
その他	1																																																	
派遣先学校数	18																																																	
派遣人数	22																																																	
陸上運動	6																																																	
器械運動	8																																																	
体づくり運動	3																																																	
球 技	1																																																	
派遣先学校数	9																																																	
派遣人数	11																																																	
柔 道	4																																																	
剣 道	3																																																	
なぎなた	1																																																	
杖 踊	1																																																	
派遣先学校数	23																																																	
派遣人数	28																																																	
指導種目数	11																																																	
派遣先学校数	24																																																	
派遣人数	58																																																	
指導種目数	24																																																	

5 成果と課題

〈成 果〉

- ・地域スポーツ人材が授業に参加することで複数の指導者による指導体制ができ、多くの児童・生徒へ指導助言、補助等が可能となり、授業の活性化につながる。
- ・複数指導者による授業が展開できることで、安全性が高まる。
- ・専門的な指導内容や方法に教員がふれ、学ぶことで、教員の指導力向上につながる。
- ・体育授業への参加をきっかけに、地域スポーツ人材が他の行事へ参加するなどの広がりが見られる。
- ・指導経験の浅い部活動顧問の負担軽減となる。



大学生による授業支援

〈課 題〉

- ・授業においては、決められている1単位時間の授業に対応しなければならない。また、学校の時間変更に対応しづらい。